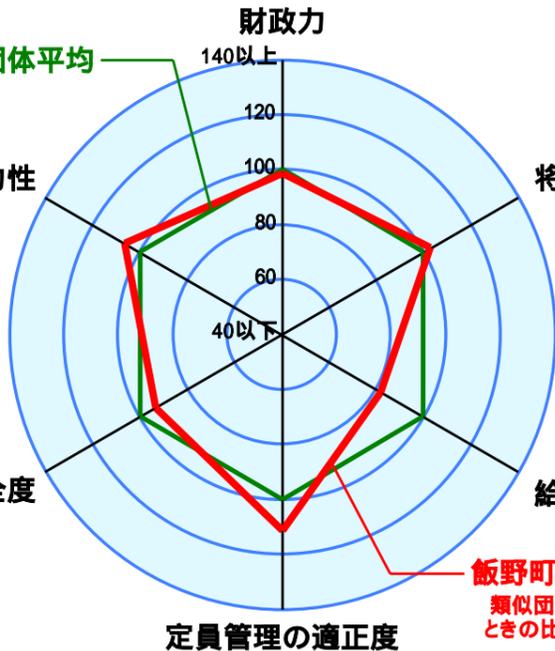


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

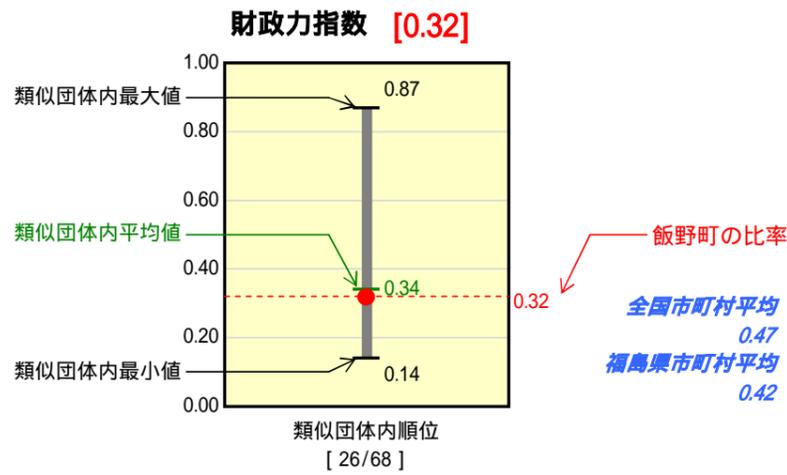
福島県 飯野町

人口	6,707人(H17.3.31現在)
面積	21.31 km ²
歳入総額	2,346,706千円
歳出総額	2,251,527千円
実質収支	95,179千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

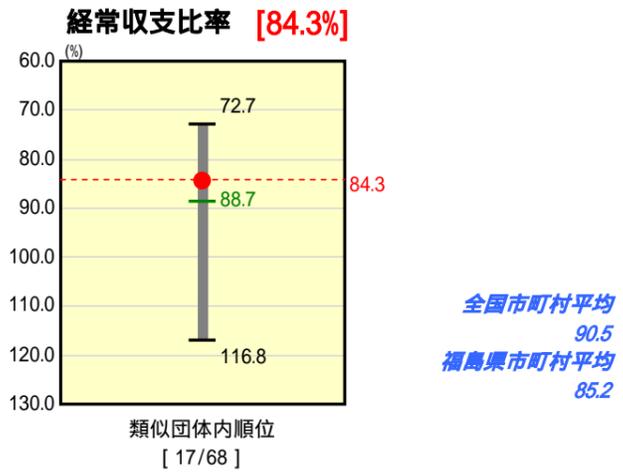
財政力



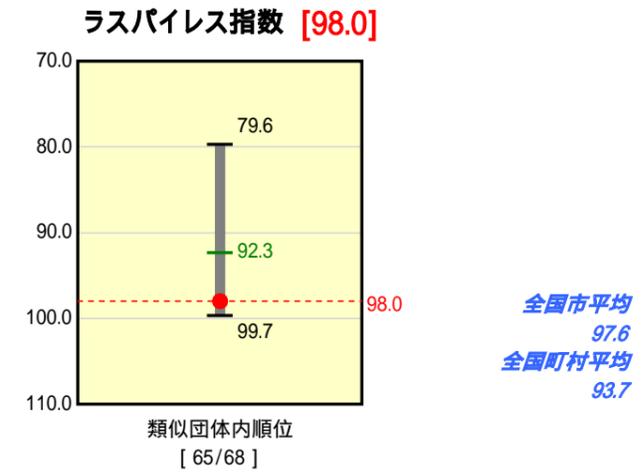
将来負担の健全度



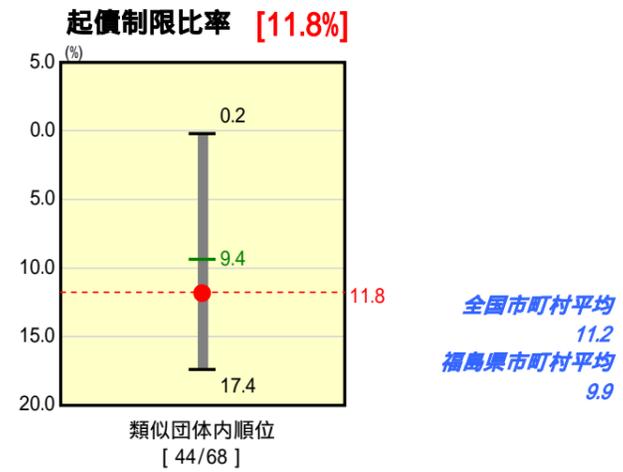
財政構造の弾力性



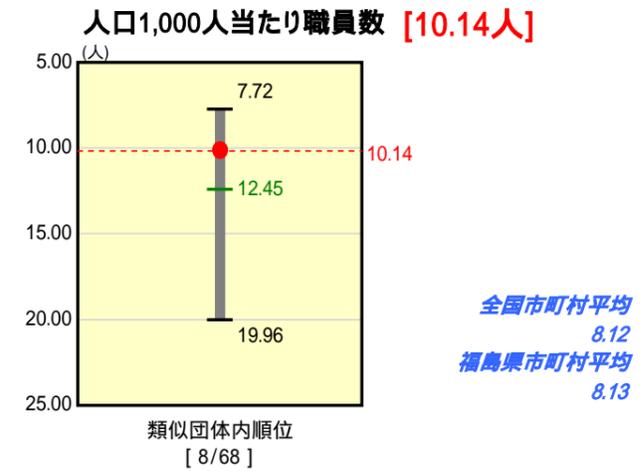
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

財政力指数: 景気低迷による個人・法人町民税の減収等から0.32と類似団体平均を下回っている。収入役の廃止や退職不補充等による人件費の削減(対12年比で8.7%減)、組織の改編(7課制から2課減の5課制)や事業の厳選による投資的経費の圧縮により、行政の効率化と財政の健全化を図る。

経常収支比率: 平成12年度から策定をしている財政健全化計画に基づき、地方債の繰り上げ償還を実施し、類似団体平均を下回っているが、扶助費の増加等により年々悪化(16年度は対前年比3.7ポイント増)している。歳出総額に対する人件費の割合が30%近くに達しているため、退職不補充等により義務的経費の抑制に努め、経常収支比率の改善を図っていく。

起債制限比率: これまで遅れてきた生活基盤の整備に係る地方債の償還等に伴い上昇し、類似団体平均を2.4ポイント上回っている。今後は、事業の厳選と起債の抑制と繰上償還の実施により改善を図っていく。

人口1人当たり地方債現在高: 近年、県の要領による財政健全化計画に基づき事業の実施を抑制してきたため、現段階においては類似団体平均を下回っている。今後も事業の厳選と計画的な繰上償還の実施により起債総額の抑制に努める。

ラスパイレス指数: 旧来からの給与体系と職員構成により類似団体の中でも最高位に位置している。人件費の抑制については、平成16年度より町長・議員等特別職報酬の20%削減、職員の6月・12月の期末手当から給料月額5%の額の6か月分を各々減額支払い、期末・勤勉手当加算額の支給停止、特殊勤務手当の支給停止及び管理職手当の50%削減を実施している。

人口1,000人あたり職員数: 平成12年度より総務省通知による定員適正化計画に基づく退職不補充を中心とした定員管理の結果、類似団体平均を2.31人下回っている。今後は、平成18年2月策定の第4次定員適正化計画に基づき、平成17年度定員78名を平成22年度までに4名(5.1%)削減の74人を目標とする。